



高齢者・障害者の外出支援策について

長坂 実子 議員



答 来年度策定の計画に必要な施策を盛り込んでいく

長坂 車などの移動手段を持たず、公共交通も利用できない高齢者や障害者などの交通弱者の移動手段を確保し、外出しやすい環境を整えるため、地域全体を広くカバーするタクシーも地域公共交通の一つと位置付け、バス・タクシー利用助成制度を設けるべきでは。

期障害児福祉計画」に、他の地域の取り組みや、ニーズ調査、市民の皆さまや関係団体等の皆さまのご意見を参考とさせていただきます。また、財政面も考慮して、高齢者の皆さまや障害をお持ちの方に対する外出支援に必要な施策を盛り込んでまいります。

子どもの医療費助成の拡充について

長坂 子どもの医療費助成は小学校6年生までであるが、子どもを育てる環境充実のため、医療費助成拡充については、市民からの強い要望がある。子どもが早期に十分な医療を受けられるように、また、子育て世帯の経済

的負担軽減のため、子どもの医療費助成を中学生まで拡充するべきではないか。

市長 「乳幼児等医療費支給制度」の重要性や対象年齢の更なる拡大を求められていることについては、十分に認識をしています。

現在、多くの自治体が単独で実施している「乳幼児等医療費支給制度」は、本来、国が全国一律の制度として行うべきものと思います。そのため、本市では、広島県に対し、「対象年齢の拡大」を、国に対しては、早急に「新たな制度化」を強く要望をします。

長坂 県内周辺自治体のほとんどが対象年齢の引き上げに取り組んでおり、わが市も取り組むべきではないか。対象を中学生まで拡充した場合、どれだけの財源が必要か。

福祉保健部長 中学校卒業までで入院費100万円、通院費900万円の合計1,000万円です。

長坂 財源を用意するのは大変だと思うが、江田島市は子育てしやすい環境づくりを市政運営の重点テーマとしている。事業の優先順位をしっかりとつけ、子どもの医療費助成の拡充については優先度を上げて取り組んでいただきたい。



オリーブ振興事業について

重長 英司 議員



答 軌道に乗るように着実に取り組む

重長 オリーブ振興事業の現状について伺う。

市長 様々な取り組みについて関係者との協議の結果、栽培方法が未確立であること、技術指導の未徹底などのご意見をいただき、こうした反省点を踏まえ、それぞれの取り組みについて改善をはかります。

水産振興対策事業について

重長 水産振興対策事業について伺う。

市長 水産資源増大のため、稚魚を育てる築いそと、成魚が定着する魚礁とを組み合わせ、整備をします。

また、集中放流事業で、オニオコゼ、キジハタおよびカサゴの稚魚を放流し、漁業者の所得向上を目指します。

産業部長 オリーブの取り組みは、軌道に乗るまで長い月日を要します。

重長 生産量上げる努力を重ねてほしい。

産業部長 現在、調査中です。

重長 オリーブの生産量が目標値の約15%しか取れないのは何故か。

重長 近年、海の栄養が不足して魚が取れなくなっていると、新聞等でも書かれている。海の環境

を整えることに努力されているのか。

産業部長 豊かな海を取り戻すには、行政のみの取り組みだけでなく、漁業者や大学、研究機関が一体となって取り組むことが肝要であると考えております。

国に対する要望事項について

重長 国道の完成に向けてどのような要望活動をしているか。

市長 沿線の呉市、江田島市、広島市の市長および市議会議長で構成する「国道487号等整備促進期成同盟会」において春と秋の2回、国に対して要望活動を実施しています。

重長 国道に関する要望



活動については、一刻も早く完成させるために、切串、宇品間のフェリーを国道フェリーとし、国および県の補助をいただき料金はクレアラインと同等になるよう、要望活動を行っていただきたい。

定例会の賛否表は

こちらのQRコードから閲覧できます。



議長の動き・議会の動きはこちらのQRコードから閲覧できます。



インターネットで本会議の映像を視聴できます。

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコン、タブレットやスマートフォンから視聴できます。

次のアドレスまたは右側のQRコードからアクセスしてください。
(<http://www.kensakusystem.jp/etajima-vod/index.html>)



※定例会の開催日程は、江田島市ホームページに掲載します。